第52回
日本写真家協会
写真公募展
2027

JPS展

2027 the 52nd Exhibition of the JPS





②



③



⑤

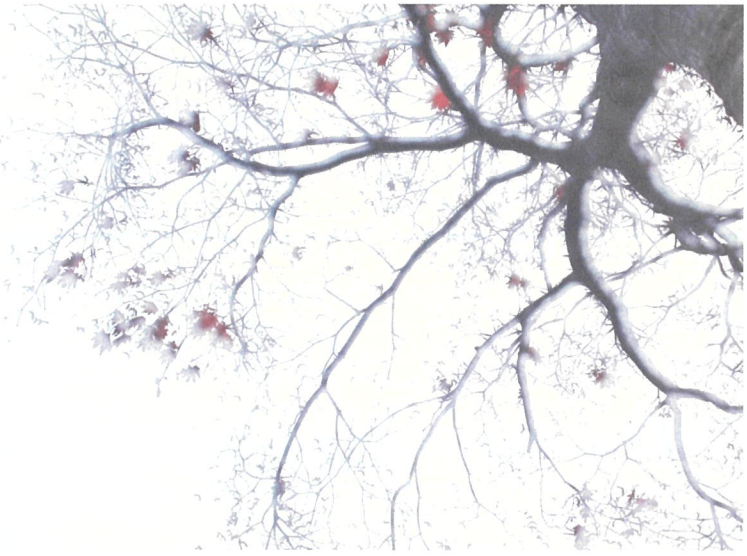


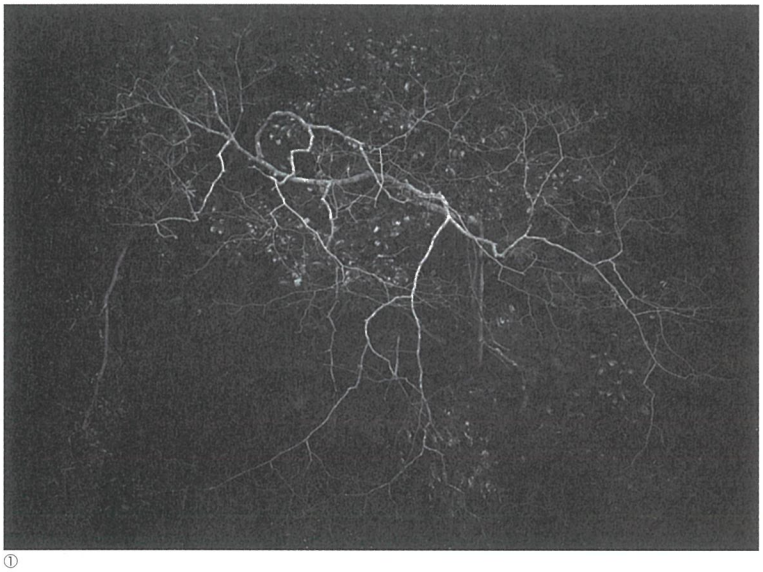
④



⑥

〈写真〉第51回2026JPS展入賞作品より
①文部科学大臣賞　丸山 禎子
「Last Performance」3枚組
②東京都知事賞　塩野 いくお
「帰郷」5枚組
③金賞　西山 亜希子
「光のファンタジア」5枚組
④銀賞　中村 和貴「最果て」単写真
⑤銀賞　飯島 進介「深呼吸の必要」5枚組
⑥18歳以下部門最優秀賞　小串 明璃
「継承」4枚組





①

作品募集

5名の審査員があなたの力作を
お待ちしております



熊切大輔
審査員長



井上嘉代子



上田晃司



小澤太一



藤井利佳
(『GENIC』編集長)

受付期間　2026 11.10(火) — 2027 1.12(火)　最終日消印有効

テーマ	自由 ＊応募規定をよくお読みください。
応募部門	一般部門 ／ 18歳以下部門
用紙サイズ	A4または六つ切
応募資格	アマチュア、プロフェッショナル、年齢、性別、国籍を問いません。ただしJPS会員は除きます。

●JPS展公式ホームページから応募作品目録のダウンロード・入力、メールマガジンの登録ができます。
●入賞、入選作品は東京都写真美術館・京都市美術館別館にて2027年5月より順次展示予定。

［主催］公益社団法人 日本写真家協会　［共催］東京都写真美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)　［後援］文化庁

公益社団法人日本写真家協会 第52回2027 JPS展
〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地 JCIIビル303
TEL 03-3265-7453　FAX 03-3265-7460
e-mail : jps_ten@jps.gr.jp

JPS展公式ホームページ

応募規定

応募規定を熟読のうえ、ご応募ください。
JPS展公式ホームページから応募作品目録のダウンロード・入力ができます。
https://www.jps.gr.jp/2027jpsten_ouboyoko/

テーマ

自由　＊注意事項をよくお読みください。

応募資格

アマチュア、プロフェッショナル、年齢、性別、国籍を問いません。ただしＪＰＳ会員は除きます。

応募部門

● **一般部門**：年齢を問いません。
● **18歳以下部門**：2008年4月1日以降生まれの方。

応募プリント

用紙サイズはA4または六つ切 8×10インチ（203×254mm）に限る

カラー、モノクロ共プリントのみ（デジタル・銀塩を問いません）。デジタル加工も可。ただしデジタル加工・合成等の欄に印を入れること。**加工・合成した作品も、必ず応募者本人が撮影したものであること。**画像生成AIを使用した作品は受付いたしません。入賞・入選者には素材データ・原板（ネガ等）の提出を求めることがあります。

出品点数

単写真＝制限はありません。**組写真**＝5枚までを1組の限度として何組でもかまいません。組写真は、左より順に並ぶように構成して番号をつけてください。ただし、写真同士を貼り付けないこと。また台紙にも貼らないで応募してください。

受付手数料

一般部門：1枚につき2,500円（組写真の場合も1枚2,500円）
18歳以下部門：1枚につき800円（組写真の場合も1枚800円）
郵便局より下記、郵便振替口座へ**2027年1月12日**までにお振込みください。お振込みがない場合は審査いたしません。
作品の中に受付手数料を同封することは、厳禁とします。
応募作品返却希望者は、**返却料2,500円**を加算してお振込みください。（応募作品の返却は7月下旬から8月上旬を予定しています。海外からの応募の場合は返却できません）
郵便振替　口座番号：00110-5-651936
　　口座名称（漢字）：日本写真家協会JPS展
＊通信欄に応募部門、応募合計枚数、応募者の郵便番号、住所、氏名、氏名フリガナ、電話番号を必ずご記入ください。
＊氏名には必ずフリガナをふってください。

受付及び締切

2026年11月10日（火）～2027年1月12日（火）まで。
郵送または宅配便に限ります。直接持参されても受付いたしません。最終日消印有効。

審査員

熊切大輔（審査員長）、井上嘉代子、上田晃司、小澤太一、藤井利佳（『GENIC』編集長）（予定）

審査結果

3月中旬頃、**応募者全員に文書にて通知。また、ホームページ**（https://www.jps.gr.jp）と**メールマガジン**でも発表します（電話でのお答えはいたしません）。

展示用作品

入賞・入選作品は、後日指定する期日までに各自で指定サイズに引伸し、再提出していただきます。その際には作品の原板・データが必要になりますので、必ず保存しておいてください。
文部科学大臣賞、知事賞（仮称）、金・銀・銅賞作品については大型サイズになる場合があります。

展示及びパネル製作費

入賞・入選作品は当協会特注パネルにて展示しますので、**一般部門は1枚につき12,000円、18歳以下部門は1枚につき6,000円**を指定の期日までに納入していただきます。応募者の申し出による入賞・入選の辞退はできません。応募規定違反など何らかの事由により入賞・入選取り消しとなった場合には、違約金として5,000円を申し受けます。やむを得ない事情により展覧会が催行できない場合には、ホームページ上での展示及び公開とし、パネルは後日着払いの宅配便で返送します。製作費の返金はいたしません。ご了承のうえご応募ください。

図録

第52回2027JPS展図録の刊行を予定しています。図録の原稿には応募作品を使用します。

賞

●一般部門

文部科学大臣賞	1名（賞状・賞金60万円・副賞・図録）
知事賞（仮称）	1名（賞状・賞金30万円・副賞・図録）
金　賞	1名（賞状・賞金10万円・副賞・図録）
銀　賞	2名（賞状・副賞・図録）
銅　賞	3名（賞状・副賞・図録）
奨励賞	5名（賞状・副賞・図録）
優秀賞	20名程度（賞状・副賞・図録）
入　選	150名程度（賞状・図録）
フィルム賞	1名（賞状・副賞）

※フィルムを使ったすべての受賞作品の中から選出します。

●18歳以下部門

最優秀賞	1名（賞状・副賞・図録）
優秀賞	10名程度（賞状・副賞・図録）
入　選	30名程度（賞状・図録）
審査員特別賞	1校（賞状・副賞・図録）

※団体でまとめてご応募いただいた学校の中から選出します。

展示会場・会期

東京都写真美術館	2027年5月29日～6月6日（予定）
京都市美術館別館	2027年6月29日～7月4日（予定）

※やむを得ない事情により展覧会が催行できない場合には、ホームページ上での展示及び公開に変更いたします。

注意事項

1. **原則として未発表作品に限ります。商用利用（販売・ストックフォト）された作品は応募できません。過去にコンテスト等で入賞・入選した作品及びそれらに類似した作品（同じ対象を同じような条件で同じ時期に撮影した作品）は応募できません。また、現在コンテスト等に応募し結果が判明していない作品も応募できません。**
2. 被写体の肖像権、著作権には十分にご注意ください。スナップ等で人物を撮影された場合には、コンテスト応募の承諾を得てください。
3. すべての応募作品の著作権は撮影者に帰属します。ただし、入賞・入選作品は巡回展終了までの間に当該作品を他に使用する場合、当協会の許諾を得てください。
4. 入賞・入選作品は、審査結果発表後、優先的に当展の広報宣伝等の目的範囲内で雑誌その他に使用することがあります。
5. 応募作品の返却を希望される方は、受付手数料納入の際、**返却料2,500円**（枚数に関係なく）を加算してお振込みください。※海外からの応募の場合は返却不可となります。返却は7月下旬から8月上旬を予定しています。
6. 入賞・入選の展示作品は展覧会終了後、着払いの宅配便で返送します。
7. 作品受理以前の事故、破損につきましては、その責任を負いかねます。作品は慎重に取り扱いますが、輸送途中の不可抗力による事故等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
8. 受付手数料、パネル製作費はいかなる場合でも返金いたしません。
9. 応募者は応募規定、注意事項を全て了承したものとみなし、違反した場合には入賞・入選は取り消しとなり違約金として5,000円を申し受けます。**応募作品到着後における応募、入賞・入選及び展示の辞退はできません。**また、過去に規定違反のあった方の受付はお断りすることがあります。
10. 応募者の個人情報の利用は、今後のJPSに関する活動の範囲内とし、慎重に管理いたします。
11. **18歳以下部門に応募された方が入賞・入選された場合は、年齢確認の資料を提出していただきます。**

● 氏名、住所、題名、フリガナ等は、わかりやすく楷書でお書きください。
● 組写真の場合、作品目録の題名は、1組につき1行で書いてください。
　写真の枚数分題名を書く必要はありません。
● 作品目録は、必ず本人控用のコピーを保存しておいてください。
● 応募票が不足する場合は、コピーし、また作品番号を修正してご使用ください。
● JPS展の最新情報をお届けするメールマガジンを配信しております。
　（https://www.jps.gr.jp/jps-ten-magazine/）
● 応募後、住所変更等がある場合はお知らせください。
● 応募に関するよくある質問　https://www.jps.gr.jp/jpsten_faq/

この作品目録を必ず作品に同封してください

第52回2027 JPS展 作品目録

応募規定、注意事項を了承のうえ、下記の作品を応募します。

応募部門（○をつける） 一般 18歳以下

フリガナ		年齢	〒 －
（氏）	（名）	男	職業
作者		女	フリガナ
			住所 都・道 府・県

＊学校単位で応募の場合、学校名と担当者名を記入（住所欄は学校の住所を記入）

学校名

電話

携帯電話

FAX

Email

作品番号	題　名	分類		
1	フリガナ	デジタル □	フィルム □	単 枚組
2	フリガナ	デジタル □	フィルム □	単 枚組
3	フリガナ	デジタル □	フィルム □	単 枚組
4	フリガナ	デジタル □	フィルム □	単 枚組
5	フリガナ	デジタル □	フィルム □	単 枚組

（チェックボックスに✓をいれる）

応募経験	□ あり	□ なし
応募作品の返却（料金2,500円必要）		
希望	□ する	□ しない

合計枚数	事務局記入欄
枚	

第52回 2027JPS展 **応募票**（写真1枚に1枚貼付）

氏名

この部分より上は写真の下にかくれるように貼ってください

題名 フリガナ

作品番号

デジタル □ フィルム □ デジタル加工・合成等 有 単写真 □

事務局記入欄 組写真 □ 枚組の 番

第52回 2027JPS展 **応募票**（写真1枚に1枚貼付）

氏名

この部分より上は写真の下にかくれるように貼ってください

題名 フリガナ

作品番号

デジタル □ フィルム □ デジタル加工・合成等 有 単写真 □

事務局記入欄 組写真 □ 枚組の 番

第52回 2027JPS展 **応募票**（写真1枚に1枚貼付）

氏名

この部分より上は写真の下にかくれるように貼ってください

題名 フリガナ

作品番号

デジタル □ フィルム □ デジタル加工・合成等 有 単写真 □

事務局記入欄 組写真 □ 枚組の 番

第52回 2027JPS展 **応募票**（写真1枚に1枚貼付）

氏名

この部分より上は写真の下にかくれるように貼ってください

題名 フリガナ

作品番号

デジタル □ フィルム □ デジタル加工・合成等 有 単写真 □

事務局記入欄 組写真 □ 枚組の 番

キリトリセン

※このラベルは必ず封筒に貼り付けてください

〒102-0082
東京都千代田区一番町25番地JCIIビル303
公益社団法人日本写真家協会（JPS）
第52回 2027JPS展 御中

応募部門	一般	18歳以下	作品返却希望	する	しない

○をつけてください

写真在中 禁二つ折

第52回 2027JPS展 **応募票**（写真1枚に1枚貼付）

氏名

この部分より上は写真の下にかくれるように貼ってください

題名 フリガナ

作品番号

デジタル □ フィルム □ デジタル加工・合成等 有 単写真 □

事務局記入欄 組写真 □ 枚組の 番

審査員プロフィール

熊切大輔(くまきり だいすけ)

東京工芸大学を卒業後、日刊ゲンダイ写真部を経て独立。「人」が生み出す瞬間・空間・物を対象に撮影。2018年写真展及び写真集『刹那 東京で』を発表。「東京美人景」「東京動物園」と併せて東京の今を撮る三部作となる。そのほかに「Solitude NYC」「演じるコト―俳優 石丸幹二の1年」等の写真展も開催。カメラ誌等連載、学校や写真教室の指導、トークショーなども行う。公益社団法人日本写真家協会会長

井上嘉代子(いのうえ かよこ)

インテリア・デザイン業界にて撮影業務に従事。事故の後遺症で右上肢の機能を失ったのをきっかけに写真家として独立。八ヶ岳と岐阜の２拠点生活をし、全国の自然風景を撮影。企業カレンダー、ポスター、書籍新聞への寄稿、セミナー講師等幅広く活動。自身の経験から、障がい者アーティストや作品も撮影する。『花火が写る絶景撮影術』(双葉社)、写真集『SOURCE』(tmC出版)など著書多数。公益社団法人日本写真家協会正会員

上田晃司(うえだ こうじ)

フォトグラファー／映像作家。米国留学中に写真と映像表現を学ぶ。帰国後、写真家・塙真一氏のアシスタントを経て独立。ライフワークとして世界各地を旅しながらストリートフォトグラフィーを撮影し、写真集や個展で発表。講演・執筆活動に加え、YouTubeで写真・旅・カメラの情報を発信中。ニッコールクラブ アドバイザー。公益社団法人日本写真家協会正会員

小澤太一(こざわ たいち)

1975年名古屋生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業。人物撮影を中心に、雑誌での執筆、講師、講演など幅広く活動。ライフワークは「世界中の子どもたちの撮影」で写真展も多数開催。近著に『HEROES』『回』がある。キヤノンEOS学園東京校講師、日本大学芸術学部写真学科非常勤講師を務める。身長156cm 体重39kgの小さな写真家。北海道と東京の二拠点生活をしながら作家活動中。公益社団法人日本写真家協会正会員

藤井利佳(ふじい りか)

ミツバチワークス株式会社 取締役／『GENIC』編集長。東京都出身。大学卒業後、ラジオ番組の制作からキャリアをスタートする。ブログサービスのディレクション、雑誌創刊、写真集や書籍の編集、イベント／写真展のプロデュースなど、多岐の分野にわたりクリエイティビティを発揮。雑誌『女子カメラ』の監修・リニューアルプランニングを担当し、2016年9月より『GENIC』編集長に就任、現職。

公益社団法人
日本写真家協会
〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地JCIIビル303
TEL 03-3265-7453　FAX 03-3265-7460
展覧会についての問い合わせは下記時間にお願いします。
平日 13:00～17:00（土、日、祝日、年末年始は休み）

JPS展公式ホームページ

応募作品のプリントは当店で

第52回 2027 日本写真家協会写真公募展

JPS展

2027 the 52nd Exhibition of the JPS

作品募集

受付期間 2026 11.10(火) — 2027 1.12(火) 最終日消印有効

用紙サイズ A4または六つ切

応募先 公益社団法人日本写真家協会 第52回2027 JPS展
〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地JCIIビル303
TEL 03-3265-7453　FAX 03-3265-7460

［主催］ 公益社団法人 日本写真家協会　www.jps.gr.jp

［共催］ 東京都写真美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

［後援］ 文化庁

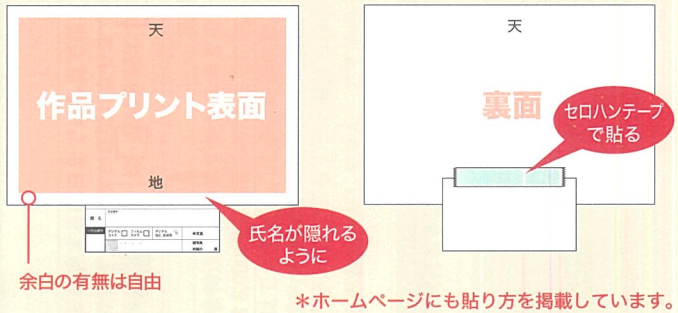
副賞提供社（昨年度　五十音順）

豪華副賞を多数ご用意

株式会社 アイデム
株式会社 浅沼商会
株式会社 アスカネット
ヴィデンダム株式会社
株式会社 エスエス企画
LK SAMYANG Co., Ltd.（エルケイサムヤン株式会社）
OM デジタルソリューションズ株式会社
オリエンタル写真工業株式会社
株式会社 ガードフォースジャパン
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
グローバルソリューションサービス株式会社
株式会社 ケンコー・トキナー
株式会社 ケンコープロフェショナルイメージング
株式会社 玄光社
株式会社 宏栄
株式会社 Sakura Sling project
サンディスク合同会社
ジェットグラフ株式会社
株式会社 シグマ
株式会社 写真弘社
写真電気工業株式会社
写真文化首都 北海道「写真の町」東川町
株式会社 セコニック
ソニーマーケティング株式会社
株式会社 タムロン
DGP 実行委員会
テクノホライゾン株式会社
株式会社 東京印書館
株式会社 長野クリエイション
株式会社 ニコンイメージングジャパン
一般財団法人 日本カメラ財団
株式会社 日本写真企画
ハクバ写真産業株式会社
株式会社 ビックカメラ
株式会社 風景写真出版
富士フイルムイメージングシステムズ株式会社
株式会社 フレームマン
株式会社 プロ機材ドットコム
株式会社 堀内カラー
マルミ光機株式会社
三菱王子紙販売株式会社
三菱製紙株式会社
光村印刷株式会社
株式会社 よしみカメラ
ライカカメラジャパン株式会社
リコーイメージング株式会社
株式会社 ロモジャパン
株式会社 ワン・パブリッシング

応募票の貼り方 ＊下のイラストを参照してください。

- セロハンテープを使用してください。両面テープや糊は絶対に使用しないでください。
- **作品の天地がわかるように、作品(プリント)下側に貼ってください。**
- 応募票は作品の裏側から貼ってください。
- 氏名部分は隠れるようにします。ただし題名は見えるようにしてください。



＊ホームページにも貼り方を掲載しています。

- 作品受付は郵送または宅配便に限ります。（持ち込み不可）
- 応募作品は、希望者には返却します。（返却料 2,500 円）
（作品は慎重に取り扱いますが、傷む場合がありますのでご了承ください）

応募に関するよくある質問はこちら